表紙のことば

演劇クラブ

那須高明

学校のクラブにはいろいろあるが、中でも演劇は、その運営・活動に難しさがある。

日常の発声、朗読、演技の基礎練習はともかく、第一の難関は脚本選定。そして、脚本の共通理解。部員が一致して「よしっ、これだ」と感じられる本に出会うだけでも大変。本が決まり、キャスト、スタッフが決まっても一歩練習に入ればたちまち本の解釈、セリフの心に部員のイメージの違いがあらわになる。議論が沸騰すればまだいいとして、互いの気持ちも言葉も沈澱して重たい時間だけが流れる。トラブルも多くなりつらい気持ちだけがクローズアップする。それらの困難を経験することなしに一つの劇は生まれない。

近年、ホーム・ルーム活動での話し合いがなかなか成立しない。クラスの一般的な雰囲気に順応して、自己主張したり、論理的に反論したりしたがらない傾向のなかで、次第に生徒たちは他人と関わることに臆病になってくる。

演劇クラブの生徒たちにも同様の傾向はあるのだろうが、他人と深く関わることなしにはいられない共同作業・集団生活がそこにある。

三年前に被服科のクラス担任だった。クラスに演劇クラブ員が五人もいた。彼女らは一人一人個性的でひときわ輝いていた。驚くほどの読書好きぞろいだった。被服製作実習の課題に追われがちなクラスには、音無しの、おとなしい、沈んだ空気があったが、彼女らは絶えず波紋を投げかけつづけた。おかげで、全校でも目につく程の活気あるクラスに成長した。

演劇クラブの活動から学ぶものは大きい。

（なすこうめい＝長岡大手高校）

『にいがたの教育情報』第34号予告

―― 特集 「豊かさ」のなかの子どもたち ――

人間の破片ではなく　八木三男

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

〔講演〕

「豊かさ」のなかの子どもたち　正木健雄

〔パネルディスカッション〕

「豊かな国」の学校五日制

矢野教／高橋武昌／小林裕子他

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

いま、子どもに遊びを　佐藤勝

子どものからだの「おかしさ」と子育ての課題　木村隆利

〔評論〕

新潟県教育界における「学閥」問題　久富善之

〔連載〕

忘れえぬ人びと　坂東克彦

（一九九三年四月一日発行予定）